IPEA/ JP

特許協力条約に基づく国際出願

第Ⅱ章

国際予備審査請求書

出願人は、次の国際出願が特許協力条約に従って国際予備審査の対象とされることを請求し、 選択資格のある全ての国を選択する。ただし、特段の表示がある場合を除く。

国際予備審查機関記入欄 30,10,03 国際予備審査機関の確認 請求苺の受理の日 出願人又は代理人の啓類記号 第I欄 国際出願の表示 CFO17154WO 国際出願番号 国際出願日 (日. 月. 年) 優先日(最先のもの) (日. 月. 年) PCT/JP03/04317 05.04.02 04.04.03 充電器、燃料電池および燃料電池の充電方法 第 II 欄 出願人 氏名(名称)及びあて名:(姓、名の順に記載;法人は公式の完全な名称を記載;あて名は郵便番号及び国 名も記載) 03-3758-2111 ファクシミリ番号: キヤノン株式会社 03-3756-0947 **CANON KABUSHIKI KAISHA** 加入電信番号: 〒146-8501 日本国東京都大田区下丸子3丁目30番2号 出願人登録番号: 3-30-2, Shimomaruko, Ohta-ku, Tokyo 146-8501 Japan ^{国籍(固名):}日本国 JAPAN 住所 (国名): 日本国 **JAPAN** 氏名(名称)及びあて名:(姓、名の順に記載;法人は公式の完全な名称を記載;あて名は郵便番号及び国名も記載) 中窪亭 NAKAKUBO, Toru 〒146-8501 日本国東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キヤノン株式会社内 c/o CANON KABUSHIKI KAISHA 3-30-2, Shimomaruko, Ohta-ku, Tokyo 146-8501 Japan ^{国第(国名):}日本国 JAPAN 住所(国名): **JAPAN** 日本国 氏名(名称)及びあて名:(姓、名の順に配載;法人は公式の完全な名称を記載;あて名は郵便番号及び国名も記載) 江口 健 EGUCHI, Ken 〒146-8501 日本国東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キヤノン株式会社内 c/o CANON KABUSHIKI KAISHA 3-30-2, Shimomaruko, Ohta-ku, Tokyo 146-8501 Japan ____ ^{国籍(国名):}日本国 JAPAN 住所 *(国名)* : 日本国 JAPAN ✔ その他の出願人が続葉に記載されている。



2 💌

PCT/JP03/04317

第1欄の続き 出願人		
この第Ⅱ欄の鏡きを使用しないときは、この用紙を国際予備審査請求書に含めないこと。		
氏名(名称)及びあて名:(姓、名の順に記載:法人は公式の完全な名称を配載 渡部 充祐 WATANABE, Mitsuhiro	: あて名は郵便番号及び国名も記載)	
〒146-8501 日本国東京都大田区下丸子3丁目 キヤノン株式会社内 c/o CANON KABUSHIKI KAISHA 3-30-2, Shimomaruko, Ohta-ku, Tokyo 146-850	1 Japan	
^{国辞(国名):} 日本国 JAPAN	^{住所(图名):} 日本国 JAPAN	
氏名(名称)及びあて名:(姓、名の順に配載;法人は公式の完全な名称を配載	。; あて名は郵便番号及び国名も記載) ·	
国籍(国名):	住所(国名):	
氏名(名称)及びあて名:(姓、名の順に配載;法人は公式の完全な名称を配載	: あて名は郵便番号及び国名も記載)	
国籍(国名):	住所 (国名):	
氏名(名称)及びあて名: (姓、名の順に配載;法人は公式の完全な名称を配載	?;あて名は鄭便番号及び国名も記載)	
国籍 (国名):	住所(国名):	



PCT/JP03/04317

第Ⅲ欄 代理人又は共通の代表者、通知のあて名	
下記に記載された者は、 代理人 又は 共通の代表者 として 既に選任された者であって、国際予備審査についても出願人を代理する者である。 今回新たに選任された者である。先に選任されていた代理人又は共通の代表者は解任された。 既に選任された代理人又は共通の代表者に加えて、特に国際予備審査機関に対する手続きのために	、今回新たに選任された者である。
氏名 (名称) 及びあて名: (姓、名の順に記載: 法人は公式の完全な名称を記載: あて名は鄭便番号及び国名も記載) 弁理士 高梨 憲通 TAKANASHI, Norimichi 〒100-0005 日本国東京都千代田区丸の内3丁目2番3号	電話番号: 03-3213-1561 ファクシミリ番号: 03-3214-0929
T100-0005 日本国東京都千代田区丸の内3] 日 2 番 3 号 富士ビル 6 0 2 号室 No. 602, Fuji Bldg., 2-3, Marunouchi 3-chome, Chiyoda-ku, Tokyo 100-0005 Japan	加入電信番号: 出願人登録番号:
通知のためのあて名: 代理人又は共通の代表者が選任されておらず、上記枠内に特に通知が送付されるあて名を記載して	いる場合は、レ印を付す。
第1V欄 国際予備審査に対する基本事項	
補正に関する配述: * 1. 出願人は、次のものを基礎として国際予備審査を開始することを希望する。 ✓ 出願時の国際出願を基礎とすること。 ───────────────────────────────────	ること 。
開東の範囲に関して 出願時のものを基礎とすること。 特許協力条約第19条の規定に基づいてなされた補正(添付した説) 特許協力条約第34条の規定に基づいてなされた補正を基礎とする	
図面に関して 出願時のものを基礎とすること。 特許協力条約第34条の規定に基づいてなされた補正を基礎とする	5こと。
2. 出願人は、特許協力条約第19条の規定に基づく請求の範囲について行った補正を無視し、かつ、則 出願人は、国際子備審査の開始を優先日から20月の期間が満了するまで延期することを希望する。 3. 規定に基づき行われた補正告の写しの受領、又は当該補正を希望しない旨の出願人からの道 (この口は、特許協力条約第19条の規定に基づく期間が満了していない場合にのみ、レビ *配入がない場合は、1)補正がないか又は国際予備審査機関が補正(原本又は写し)を受領していないときは、出	(ただし、国際予備審査機関が、特許協力条約第19条の 通知を受領した場合を除く(規則69.1(d))。) 印を付すことができる。)。
2)国際予備審査機関が、見解告又は予備審査報告告の作成開始前に補正(原本又は写し)を受領したときは、こ	
国際予備審査を行うための智語は 日本語 であり、 ✓ 国際出願の提出時の冒語である。 国際調査のために提出した翻訳文の言語である。 国際出願の公開の言語である。 国際干備審査の目的のために提出した翻訳文の言語である。	
第V欄 国の選択	
出願人は、選択資格のある全ての指定国(即ち、既に出願人によって指定されており、かつ特許協力条 ただし、出願人は次の国の選択を希望しない。: JP,US,CA,EP,CN,KRを除く	

国際出版集

国際出願番号

PCT/JP03/04317

第21欄 照合欄			
第VI欄 照合欄			
この国際予備審査請求事には、国際予備審査のために、第Ⅳ福に配載する言語による 下記の母類が添付されている。	国際予備審查機関配入欄		
	受 領 未 受 領 .		
1. 国際出願の翻訳文			
2. 特許協力条約第34条の規定に基づく補正哲 枚			
3. 特許協力条約第19条の規定に基づく補正告 (又は、要求された場合は翻訳文)の写し 枚			
・ 4. 特許協力条約第19条の規定に基づく説明哲 (又は、要求された場合は翻訳文)の写し			
5. 杏舖			
6. その他 <i>(哲類名を具体的に記載)</i> : 枚			
この国際予備審査請求書には、さらに下記の普類が添付されている。			
1. 上手数料計算用紙 5. 記名押印(署名)の欠落についての説明書			
2. 個別の委任状の原本 6. コンピュータ読み取り可能			
✓ 納付する手数料に相当する特許印紙を貼付した沓面✓ 国際事務局の口座への振込を証明する沓面	<i>記事</i> 以:		
	·		
3. 包括委任状の原本 4. 包括委任状の写し (あれば包括委任状番号) :			
4. 包括委任状の写し(あれば包括委任状番号):			
第VII欄 出願人、代理人又は共通の代表者の記名押印			
各人の氏名(名称)を記載し、その次に押印する。			
高梨憲通「型理」			
国際予備審查機関記入欄			
1. 国際予備審査請求告の実際の受理の日 			
2. 規則 60.1(b)の規定による国際予備審査請求 書の受理の日の訂正後の日付			
3. 優先日から19月を経過後の国際予備審査請求書の受理。 ただし、以下の4.5の項目にはあてはまらない。	出願人に通知した。		
4. 規則80.5により延長が認められている優先日から19月の期間内の国際予備審査請求書の受理			
5. 優先日から19月を経過後の国際予備審査請求告の受理であるが規則82により認められる。			
国際事務局 記入 欄			
国際予備審査請求部の国際予備審査機関からの受領の日:			